

# EASTER VILLAGE

イースタービレッジだより・第 20号



## 夢をのせて

### 夢をのせて

フィリピンに来て十二年目になる。ここ数年はカトリック札幌教区の青年たちのフィリピンエクスポージヤに同行してきた。毎年一月にフィリピン各地で異文化と触れ、フィリピン人のおもてなしの心に触れ、「人間に帰っていく」体験をする青年たちを目的の当たりしてきた。

今年はEVをその場所を選んでくれた。気負うことはない。普通の暮らしに青年たちが加われればよい。水のシャワーや塩辛い魚に酔をつけて食べる。箒で庭の掃除をする。動物たちに餌を与え、生きた鶏をお客様のためにさばいて食べさせる。フィリピンでのありふれた日常が日本の若者には、新鮮に見える。我々の命のもととなる食べ物に感謝して、「いただきます」。

8日間に渡る体験学習の中身は日常生活。それと「おもてなし」を大事にするフィリピンの文化を伝えたい職員がいろいろと企画をして、フィリピンと日本の遊びの交流など、盛りだくさんであった。遊びの交流を通じて、言葉を超えて心の交流が行われた。

一月六日の公現のお祝いは、異邦人にキリストが示される大きなお祝いだ。子どもたちは、三人の博士たちに、自分の小さな夢、大きな夢を手紙に書いた。その手紙を風船にくくりつけ、一斉に空に飛ばす。小さな胸に大きな夢をもって、大きな歓声と共に風船を飛ばす子どもたち。その夢は届くと良いね。かなうといいね。その夢に参加させてくれないか。

子どものような大きな夢を描き、大人の冷静さと現実的な物の見方の大切さが胸を交錯する。思えば、日本を始め、多くの人たちの子どもたちへの夢への参加がEVを支えている。夢が届きますように。

祐川郁生神父

## 季節のお便りありがとうございます

2008年が始まりました。昨年は大変お世話になりました。クリスマスのは時期には全国各地からお便りをいただきました。



幼稚園関係や、教会関係の支援者、トラピスチヌ修道院、多くの友人たちなど、EVは大勢の方々に支えられております。

## カナダからのプレゼント

カナダ在住のフィリピン人コミュニティの方々がEVのホームページを見て支援の輪を広げてくださり、大きな段ボール箱六箱を送ってくださいました。子どもたちにとっては夢のようなおもちゃが入っていました。日本から今までいただいたおもちゃも一緒に聖心ホールの一階に夢のおもちゃコーナーができました。



時間を決めて子どもたちは遊びます。整理整頓もしっかり学びます

## チャイルドケアセンター完成

児童養護施設と併設して今年からチャイルドケアセンターや聖心ホールを中心にいよいよ地域の子どもたちのための活動も開始します。

これは小学校に入る前のプレスクールであると同時に、より地域に開かれたEVを目指すことが第一の目的です。

フィリピンではこの種のセンターもDSWDの管轄下ですので、EVの児童養護施設の免許でチャイルドケアセンターは、そのままプログラム追加として登録されます。



1月初めに土地の祝福。札幌の青年たちとともに工事の安全を祈りました。

これらの建設資金などは、中島さんの活動である先住民や貧しい子どもたちの支援活動の一部として、ご寄付いただきました。六月から午前午後各二十名の体制で始められるよう準備中。



見た目は木のぬくもりする建物です。屋根は青い色にしました。



中に入ると外見とは違い、カラフルなデザインになっています。トイレも二つ、小さい子ども用のものがあります。

EVからはインダイとターザンがこのセンターに通うことになりました。また、小さい子どもたちの受け入れ依頼を受けていますので、その子どもたちもここで近所の子どもたちと元気に遊び、学ぶこととなります。ますますにぎやかにまた、地域に発展する施設を目指します。





## 札幌支える会事務局だより

二月に札幌に一時帰国した祐川神父は、真駒内教会でミサ。その後には大勢の方々が残ってくださり報告会を開きました。

また、支える会のメンバーが集まり、北広島教会で会合を開き、今後のことなどが話し合われました。フィリピンへの帰り際にはいつも支援してくださっている埼玉の熊谷教会でも感謝のミサを捧げました。真駒内教会より記事をいただきました。



### 四旬節の期間中、

2月10日に、祐川神父様と支える会のスタッフの皆様をお迎えする機会が与えられました。ミサの中で、神父様が「真駒内での初ミサです。」とお話された言葉に、私達は

とてもうれしく、神様の計らいと、このような機会を作ってくださいました。支える会の皆様に感謝いたしました。イスタービレッジ・ミンダナオの子供達の生活は、お便りなどで、知ることが出来ていましたが、直接語られる言葉に、心打たれました。「私達は、神の国に向かう移住者です。」と話されましたが、北海道から飛



び出して、貧困や紛争の影響を最も受けている子供達のために体を張って頑張っている神父様は、現代社会の、人間も

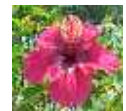
動植物も地球上を移住している現状の中で、身を持って、カトリックと言う言葉を実践しているように思います。困難な事が次々と起こっているかもしれませんが、困りませんが、スタッフや神父様、子供達の生き生きとした、瞳を見ると、きつと希望に満ちた日々であると感じます。一方では、施設を出た子供達が向き合わなければならない厳しい現実を思うと、心が痛みます。自立にむけての計画がかなえられますように、私達も、息長く支援したいと、いつそう思います。真駒内教会から、これからは担う若者(そうでない人も)がミンダナオを訪れ、実感できるチャンスが与えられますようにと祈りました。

川本悦子 真駒内教会

ご寄付いただいた方々、心より御礼申し上げます

(敬称略、順不同)

斉藤正俊 カトリック北26条教会 東門申三・昭子 聖園天使園  
山崎斯美 能町基子 三方愛子 カトリック湯川教会 キイアラ会  
札幌地区カトリック女性の会・環様 高桑昌子 福田幸子  
天使の聖母トラスチ又修道院 高桑春男 柴田満里子 高橋美智子  
中村義子 カトリック北広島教会 尾花多見子 水上みち子 久保田政紀  
松尾左喜子 上野祐子 及川裕喜子 高橋昭市 辻崎恵和小・祥子  
殉教者聖ゲオルゲオのフランシスコ修道会 大濱崎喜代子 猪飼桂  
カトリック月寒教会・アンナ会有志 井上裕・真由美 平信行・好子  
宍口國博 巨理カトリック幼稚園 聖下三三コ学院幼稚園 水曜会  
劔物芳郎 カトリック本郷教会 白崎月子 白崎三千年 佐々木賢秀  
カトリック月寒教会アンナ会 飯塚雄介 高橋博治 水口透 阿部秀子  
松田博子 仙台白百合学園幼稚園 武田テチコ 前田トシ子 工藤麗子  
祐川眞 扇谷ウタ子 米山正枝 花田靖子 大瀧浩一 池島テレジア  
加藤順平 小林薫 松田文字 聖心女子大学同窓会宮代会 長谷川敬  
原祥子 佐々木陽子 榎本みつ枝 高秀悦子 及川敬貴 佐藤智恵 阿部秋  
佐藤道子 小林倫子 三戸寿子 中村麻奈 聖心の布教師妹会本部  
森孝一 マリア幼稚園 カトリック月寒教会・森田健児 小川昭子  
カトリック宮前町教会・今田玄五 間野美江子 黎明幼稚園 吉田亨  
カトリック富岡教会・新海雅典 田上紀子 鳴海聖園天使園職員一同  
藤女子中学校2年 佐山淑子 大竹紀子 宮武令  
聖ウルスラ学院叡智幼稚園園児一同  
石巻カトリック幼稚園PTA 森谷朋子  
カトリック湯川教会・マルタの会  
ドリトルの会・白井ふみ江 立花正博  
カトリック円山教会E.Vを支える会  
カトリック円山教会青年会  
カトリック山鼻教会 カトリック真駒内教会  
カトリック北広島教会・勝谷神父  
難波則子 カトリック月寒教会  
その他匿名の方々



2007年11月22日～2008年3月1日

## イースター・レッジの昨日今日



### クリスマスのお祝い

2007年のクリスマスは、政府立のシエルター施設であるCICの子どもたちと一緒にお祝いしました。普段は、様々な事情で施設から出られない子どもたちはEVに来るのが楽しみになりました。朝から日が暮れるまで、パーティーを盛り上げるために参加してくれたライダーたちのきめ細かな配慮のもと、楽しい一日を過ごすことができました。



フォスターケアを受けているダンテやサミーも参加

他にも自分の誕生日をEVの子どもたちと共に祝うするために、ピエロまで連れてきて子どもたちとゲームや食事を楽しみました。



二人のピエロは大人気。子どもたちにいろいろなゲームを教えてくれたり、何と何と手品まで披露。ワタメ屋さんなどの屋台も出て、みんなで美味しい昼食を楽しく取りました。思う存分楽しんだ一日でした。

### 札幌からの青年たち

2008年の一月は札幌から七名の青年たちのエクスポージャ（体験学習）から始まりました。



引率には上杉神父、また、支える会の代表の勝谷神父、総勢9名が、8日間寝食を共にしました。

毎年一月にはフィリピン各地で体験学習をしていますが、今回は初めてEVに来てくれました。



フィリピンと日本のそれぞれのゲームで楽しみました。写真は「達磨さんが転んだ！」

青年たちは毎日担当の子どもたちのお洗濯や身の回りのお世話をしてくれました。8日間に渡るふれあいはEVの子どもやスタッフ、そして札幌からの青年たちの心に何か大事なものを植えつけてくれました。



最後のお別れ会では手作りの「桃太郎」の紙芝居を披露。おかげでEVのオオトカゲの名前も「桃太郎」になりました。





最後に全員でWelcome to the Family!を歌い、体で表現しました。互いに寄り添い、助け合う姿。

共に生活をする事、共に喜び、泣き、歌い、踊り、触れ合うことが大きな財産となった体験学習です。  
 ミンダナオは日本の外務省によって危険地域に指定されていますが、安全に過ごすことができました。



朝早くから子どもたちと共に起き、夜子どもたちが寝るまで共にいてくれました。子どもたちが寝静まった後、反省会で自分たちのここでの生活を話し合い、体験を分かち合いました。



EVにもサントニーニヨのモニユメントを作りました。



緊張した面持ちのインダイ。全部で57名の子どもたちが小さきイエスのお祝いの日、洗礼を受けました。

**インダイ、洗礼を受ける**  
 インダイ(5)がサントニーニヨのお祝いの日に洗礼を受けました。事情で遅れましたが、これです。代母には、大好きなティール姉さんがなりました。



また、猪飼桂さんが今回二回目、EVを訪問してくださいました。一週間の滞在中、子どもたちのた



小川さんは、ディゴス市生まれ。いつも家族のお墓参りに来られます

**訪問者のご紹介**  
 小川昭子さんは、EVにはもう幾度もきてくださっています。毎回、子どもたちや職員の髪の毛をプロの腕前できつてくれます。今回は二月生まれの子どもたちと一緒に同じ二月生まれの中島さんと共に誕生祝をしました。



今年18歳になるウイナリン。高校卒業後は大学に進学し、将来のソーシャルワークを目指す夢を話してくれました。

また、フォスター家族のところにいるウイナリンが学校の書類のことで久しぶりにEVへ里帰り。



めに美味しい「そぼろご飯」を作ってくれたり、地震で怖がる女の子たちと一緒に寝てくれたりしました。  
 おなじみ札幌支える会の代表をして下っている勝谷太治神父が、一月、札幌の青年たちと一緒に来てくださいました。





### 誕生日おめでとう

1月9日は、エンジェルの誕生日です。毎年のことながら、いつも誰か訪問者がいて、大勢で祝ってもらいます。エンジェルは8歳になりました。もう、みんなの前でも自分の言葉でお祈りができるようになりました。



札幌からのお兄さん、お姉さん方と一緒に祝い。毎年、エンジェルの誕生日には誰か彼がいるね。



エンジェルはE Vに来て四回目の誕生日です。ずいぶんお姉さんになって弟のチャンチャンやターザンの面倒も見られます。

2月生まれば、エリサ(7)、ディンプル(7)、ターザン(5)、それに中島さんとたまたま訪れてくれた小川さんの五人のお祝いでした。



この日は、天気にも恵まれ、庭でみんなでパーベキューをしたり、小川さん、上崎さんのそばろご飯



まで登場(写真)。歌を歌ったり、踊ったり、おしゃべりしたり、楽しい一日になりました。



みんなで協力して料理しました。後はともに食事と幸せと時間を分かち合います。

### 小さなひな祭り



三月三日、ひな祭り。もちろんフィリピンにはひな祭りはありませんが、中島さんのアイデアでイロイロとターザンがモデルに。



みんなで、アイスクリームや果物を食べてお祝いしました。

### ありがとうアテ・アヤホ

E Vに半年ほど滞在し、ボランティア活動をしてくれた上崎彩帆さんから滞在中の感想をいただきました。そのまま掲載します。

### 私のE V滞在記

上崎彩帆



昨年の9月中旬から今年の3月中旬までの約半年間、イースタービレッジでボランティア

アスタップとしてお世話になりました。イースタービレッジに来た当初は子供たちとどう接すればいいのかという気持ちに悩んでいました。なぜなら、私は今までボランティアをしたことがなく、ましてや以前の仕事は子供と関わるようなものではなかったからです。言ってみれば全てが初体験！という中で始まったという感じでした。これからどうしよう...と思わず考えてしまった記憶があります。しかし、それもスタッフや子供たちの優しさに触れ、共に毎日を過ごしていくうちに次第に薄れていくのを感じました。

イースタービレッジでは色々な体験をさせて頂きましたが、その中で印象に残っていることが3つあります。一つ目は、スタッフのジョイさんに代わって私がキッチン周りのスーパバザー（主に食後の子供たちの食器洗いの仕事を監督する）になったことです。インダイヤターザンを除いて、使った自分の食器を洗うことは子供たちそれぞれのお仕事なのですが、ある時、ある子は「アテ（お姉さん）、トイレに行ってくるね！」と言ったまま帰って来ず、部屋を探し回ったり、またある子は食べるのが遅くて学校に遅れそうになったり、またある時は突然ビビが歌を歌いだし、周りの子が同じように歌いだし、更にはスタッフの方まで加わってキッチンが合唱コンクールのようになつたりと、大変でしたが『今日はどんなことがあるだろう？』と毎日ワクワクしながら、食後の掃除の時間が楽しみにしていました。



一つ目は、子供に何か問題が起こった場合、スタッフが子供と対話をきちんとするということとです。どんなときもその子の納得がいくまで話し合つ。それは今の日本の家庭ではなくなりつつあるものなので、とても良いことだなと思いました。中島さんのお力添えで他の養護施設でボランティアをさせて頂く機会があったのですが、そこにいる子供たちは食べるものと着るものを与えられただけで、躾や教育がきちんと施されていませんでした。もちろん食べ物や着るものがあるだけでも十分恵まれているのですが、これから大人になるためにそれだけでは不十分です。その点イースタービレッジでは、勉強する時間、子供たちのミーティングなど、スタッフが要素要素で子供たちに接する機会があり、週に一回のミーティングに参加したときは、スタッフと子供たちの



は微塵も見せず明るく笑顔で接してきます。イースタービレッジに来たとき、全然ピサヤ語が分からなかった私に、子供たちは「ミー（母）やアテ、デイス（Yes）！」と自分の知っている英語を一生懸命使って話しかけてくれたり、私がピサヤ語で分からないところを聞くと身振り手振りや、英語とピサヤ語交じりで（時々英語風になりながら）説明してくれたりして、嬉しかったです。裏表のない子供たちの笑顔には、日本ではずっと見ることがなかったものだったので、本当に癒されました。これも神父様やスタッフの皆さんが、子供たちに深い愛情を注いでいらっしゃるからなのだろうなあ



『絆』を感じることがあり、素晴らしいと思えました。三つ目は、子供たちが素直で元気いっぱいなこととです。悲しいことや苦しいことをたくさん経験しているはずなのに、そんな様子

と思いました。イースタービレッジでの6ヶ月は本当にあつという間でした。滞在している間、聖心ホールの落成式や子供たちとダバオへの一泊旅行など色々な行事に参加したり、ダバオでフィリピンの方々と知り合ったり、日本から来られた訪問者の方々と交流したり、日本では分からなかった多くのことを学び、考えを知ることができました。また、神父様、中島さん、スタッフの方々、子供たちからは多くの喜びと希望、夢を見ることの大切さを教えて頂きました。ボランティアスタッフとして、イースタービレッジの家族の一員になれたことを誇りに思います。これからもイースタービレッジの一員として関わっていくことはもちろん、時々、心のふるさととして里帰りしたいと思えます。また皆さんの笑顔に会えることを信じて、これからも頑張ります。本当にありがとうございました。







カイミト(Star apple or Kaymito)

今回のフィリピンのフルーツは、地元ではカイミトと呼ばれるスターアップルです。夏が近づくと山の方から市場で売られるようになります。今の時期だと1キロが15ペソ程度です。紫色のものと黄緑のものがありますが、紫色の方が甘い感じがします。中を開けるとコンデンスミルクのようなものが溢れ出て、子どもたちに言わせればまるで「アイスクリームみたい」な味だそうです。ご賞味あれ。

#### <支援のお願い>

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子どもたちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争の原因を取り除く平和の使者となるようにできるだけの援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

#### 「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」(支援者募集)

代表 勝谷 太治 事務局 鈴木 みち子 松川 厚明

060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館内

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」事務局

011-241-2785 Fax 011-221-3668

支援金 : 年会費一口 ¥5,000 (一口以上) 一般寄付

郵便振替口座番号 : 0 2 7 6 0 - 3 - 3 9 4 7 3

口座名称 : イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現時事務所: EASTER VILLAGE OFFICE

Riverpark Subd., Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines

Tel/Fax 63-64-278-4742 Email: info@eastervillage.com/

Website: <http://eastervillage.com>

\* 会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付を下さった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年四回)

2008年3月

「イースタービレッジだより第20号」

発行責任者: 祐川郁生



